



学年目標
居心地の良いクラス・学年をつくる

4 度目の緊急事態宣言

やっとプールが気持ちよいと感じる気候になったと思ったら、緊急事態宣言に伴い水泳授業が中止となってしまいました。より一層の感染対策をということで練馬区が決めたことなので仕方がないのですが…。2年生の水泳授業を見てから決めてほしいと思うくらい、生徒達は私語一切なしで授業に取り組んでいました。普通、プールに入ったら「きゃー!!」とか「ひょー!!!」とか「つめたーい!」とか言いたくなります。それも我慢して、ノーリアクションで水泳授業に黙々と取り組んでいたみんなの努力を認めたいです。また2学期、気持ちよく水泳授業をやりましょうね。

オリンピック学習

水泳の代わりにオリンピックに関する学習をやりました。まず、オリンピックの目的は「スポーツの世界一を決めることだけではなく、平和な社会を創造すること。」であるということ(オリンピックイズム)を学びました。そして、過去のオリンピックの名場面を見て、スポーツの感動的な面に触れました。「すごかった。感動した。」「東京オリンピックに興味をもった。」「勇気をもらった。」という感想が多かったです。しかし、今回の東京オリンピックに関してはコロナの影響が大きいので、単に楽しみというだけではありません。そこで「無観客」についての記事を読みながら様々な考えがあることを理解し、その上で自由に自分の意見をまとめてみました。



生徒の意見を一部紹介します↓

- ◎ 動画を見て私は今まであまりオリンピックに興味がなかったけれど今年は見たいなと思いました。たくさん選手が勝つために何年も練習をして、その努力が報われる瞬間はとても感動的でした。東京オリンピックは私にとっては初めてで楽しみにしていたので無観客になってしまうのは少し悲しいです。テレビで見られたとしても、お客さんの歓声などもとても大事でそれがないと寂しいなと思いました。
- ◎ 私は最初、今無理してオリンピックを開催せずとも、何年後にまた開催地を東京にしてもらえば良いじゃないかと思っていました。けれど、映像や記事を見て「東京で開催されるから何が何でもやりたい。」だけではなく、「この日のために何年も頑張ってきた人がいるからやりたい。」という気持ちもあることを知りました。無観客という形にはなってしまったけれど、もうすぐ始まるオリンピックがとても楽しみです。
- ◎ 今回のオリンピックで考えたことは、全ての人が満足いくことは難しいということです。コロナでオリンピックが無観客になりました。仕方ないとは思いますが、やはり見たかった人も大勢いました。様々な事情や立場を理解して、なるべき全員が理解できるような行動をしなければならないと思いました。それは、オリンピックの目的とそんなに違いはないと思います。
- ◎ 4年に一度のオリンピックが東京であり、出場する選手たちはそれぞれの思いがかりながら本番に向けて練習をしていると思う。その中で突然起きた今の状況。受け入れられない人が沢山いる中でのオリンピック開催は、何か意味があるものにならなければいけないと私は考えた。この大変な中、自分の国でオリンピックに出場する選手達を応援したいと思う。
- ◎ オリンピックをその場に行って応援するのと無観客で応援するのは全然違います。ですが、日本国内で行う色々なイベントが中止させられている中、世界規模でやるオリンピックが開催されるだけでも良かったと思うので、無観客どうこう言うのではなく、テレビの前に座って全力で応援しようと思いました。



「無観客に賛成。」「オリンピックを中止すべき。」「正直分からない。」「学校での活動は色々中止なのに、オリンピックをやる意味が分からない。」など、オリンピック開催や無観客に関しては様々な意見がありました。ですが、頑張っている選手のことを思うと、多くの人が「応援したい」と感じているようでした。立場によっても様々な考えがあることを感じたようです。

